

サービス
身知精
正パ

株式会社 第一ドライ

障害のある人もない人も同じ仕事をしています



社員の1日のスケジュール

障害のある社員8名のうち、知的障害のある原澤さんの仕事の様子を紹介します。

- 8:15 ● 出社**
朝礼を行い、1日の作業の流れや、連絡事項を確認します。
- 8:30 ● 作業開始**
クリーニングしたものを機械で仕上げる作業に入ります。怪我をしないようにしっかり声を掛け合いながら取り組んでいます。
- 12:00 ● 昼食**
食堂でみんなと一緒に談笑しながら昼食をとりまします。
- 12:50 ● 作業再開**
午前中の作業の続きを行います。勤務時間の都合で人員の配置が変わるため、上司の指示を受け、人手の足りないところのフォローに入ります。
- 17:00 ● 退社**
日報を提出して退社します。



■仕上げ機に通す作業①
しわが生じないよう機械に通すためには、技術が求められます。



■仕上げ機に通す作業②
ベアを組んだ相手とタイミングを合わせて機械に通します。

社員の声



原澤 なるみさん
(入社：平成22年3月)

頑張る姿を障害のある方に見せたい

・仕事内容

クリーニングしたものを機械で仕上げる仕事をしています。機械を扱う業務のため、不注意などで怪我をしてしまう可能性もありますので、自分を含め、周囲の人が危なくないように気を付けながら作業をしています。

・仕事に対する思い

4～5人のグループで作業をしているため、他の人の作業スピードと合わないことがあると、仕事が遅れてしまいます。そのため、一緒に働く人とのチームワークが重要になるので、しっかり声を出して作業をすることや、積極的にコミュニケーションをとるように心がけながら日々取り組んでいます。

・就職を考えている障害のある方へ

自分が就職してから今まで働き続けられているのも、職場の人や、家族からの支えがあったからだと思います。自分が活躍できる環境というのは必ずあると思うので、諦めずに頑張ってくださいと思います。

雇用に際しての取り組み

面接よりも実習を重視する

当社では障害のある方を雇用する際に、実習を重視しています。実習では本人の性格や体力、働く意欲や同僚との協調性、得手不得手を観察し、できることを増やしていくよう指導することで、採用につなげています。



複数の仕事をできるようにする

障害のある社員に、一つの業務だけできるように教育していると、仕事が切れた時に、他の仕事をさせようとしても、教育していないため任せられず、手の空く時間ができてしまいます。そのため、仕事を教えるときは、たとえ作業のスピードが遅かったとしても、複数の仕事を体験させ、どのような状況でも柔軟に対応できるように心掛けながら指導しています。



長時間の仕事ができるように

雇用する以上、長時間の仕事ができるように指導せねばなりません。同じ作業だけをさせていると飽きてしまい、「仕事は長くてつまらない」といった印象をもたれてしまう危険性があります。そこで、一日の中で気分転換を図りながら複数の作業を教え、本人の意欲や持続力を高められるよう指導しています。



現場の人間に認めさせる

障害のある社員がある程度仕事ができるようになったら、障害のない社員にその仕事ぶりを見せ、障害のある社員の実力を認めさせる努力をしました。この取り組みにより、障害のある社員は自分の仕事に自信を持てるようになり、障害のない社員は障害のある社員を受け入れようと前向きになってくれたため、障害のある社員と障害のない社員との間に垣根のない職場環境が整備できたと思います。



事業内容

昭和32年に設立し、旅館やホテルを中心とした業務用クリーニングを行っています。また、大型ショッピングモールなどに店舗を構え、一般家庭向けのドライクリーニングも行っています。障害のある方は仕事ができないという概念を無くし、障害のない社員と同一の仕事任せることにより、障害のある社員だけでも動かせるラインの構築に成功しています。



障害のある社員の業務内容

・シーツや枕カバーなどの仕上げ作業



障害者雇用を検討される事業所のみなさまへ

障害のある方は教育することにより十分な戦力になります



代表取締役社長
堤 一彦さん

戦略としての障害者雇用を

企業の課題の一つとして人員確保がありますが、その課題を克服する一つの方法として障害者雇用の道があると思います。多くの企業は、障害のある方を雇用しても戦力にならないと考え、雇用することに意味を見出していないと思います。しかし、障害のある方でも教育次第では、企業の貴重な戦力となりますし、当社では立派に活躍してもらっています。人手不足に

悩んでいる事業所は障害のある方の雇用を検討されてみてはと思います。

社員同士の垣根を無くす

当社では、障害の有無に関わらず、チームの一員として仕事に取り組んでもらっています。障害のある社員でも教育することにより、障害のない社員と変わらない働きをしてもらえるため、工場見学に来た企業や学校の方々は、障害のある社員の働きぶりを見て毎回驚かれています。

■事業所データ

設立 1957年(昭和32年)
常用労働者数 190人
代表者 代表取締役社長 堤 一彦
所在地 〒379-0116 群馬県安中市 安中4丁目11-30

TEL:027-382-1381



■会社概要

昭和32年に設立し、旅館やホテルを中心とした業務用クリーニングと、一般向けのドライクリーニングを行っています。

■障害のある社員の雇用状況

障害のある社員数 8人
うち重度障害のある社員数 5人

区分	身体	知的	精神
正社員	1人		
契約社員			
パート		6人	1人
アルバイト			